

第19回マニフェスト大賞 “特別審査委員賞 秋吉久美子 選” 受賞

「守られる人から守る人へ」～未来へ繋ぐ防災啓発～

令和6年11月15日（金）、地域づくり技術研究所が進めている標記の取り組みが、「第19回マニフェスト大賞」で、特別審査委員賞 秋吉久美子 選を受賞しました。

令和元年より防災教育支援として「守られる人から守る人へ」の意識変革を念頭に、小・中・高校、大学、特別支援学校において、浸水疑似体験VRや「あつ森」の避難学習動画、ペットボトル防災科学実験などを取り入れた体験型・参加型の防災講座を実施した取り組みが評価され、3012件の応募の中から受賞の運びとなりました。

特別審査委員である秋吉久美子様からは、「災害の時代に、どうやって守ってくれるのではなく、また行政に頼るのではなく、一步踏み出して守る側になる考えを子どもたちに持ってもらう取り組み。紙の上の講義ではなく、バーチャルな体験で自分事に捉える考え方を広めていることが力強く感じる。」と講評を頂きました。

今後も、地域の守り手となる子供たちの「守られる人から守る人へ」の意識向上のため、トレンドやニーズなどを意識した取り組みを行い、自分事として、多くの人へ伝わる防災啓発を展開していきたいと考えています。

※「マニフェスト大賞」は、地方自治体の議会、首長、市民等による、地域の民主主義向上に資する優れた取り組みを募集し、表彰するものです。これにより、地域で努力を重ねる方々に荣誉を与え、さらなる意欲向上を期するとともに、優れた取り組みが広く知られ互いに競いあうようにまちづくりを進める「善政競争」の輪を拡げることが目的として実施されています。



俳優 秋吉久美子 様（左）と犬飼研究所長（右）



表彰楯授与の様子



授与後の記念写真